

## 「心を与える」

まず与えることから始めよう。富のあるものは富を、才のあるものは才を時間のある者は時間を。しかしなんと云っても、人が人に与える最高なものは、心である。他者のための「思い」と「行動」に費やした時間、人とともにどれだけの時間を分け合ったかによって、真の人間としての証がなされる。



(いのちの言葉 日野原 重明 より)

入園、進級してから1ヶ月が過ぎ、信頼関係を深めながら、身体を動かしたり好きな遊びを見付けながら少しずつ自分を表現できるようになってきました。友だちへの関心も高まり、泣いている子がいると、顔を覗きこみ頭を撫でたり手を繋いだり、いないいないばあをして喜ばせようと寄り添うような姿も見られます。

私たちは、人に何かを与えることに対し、損得を考えてしまったり、見返りを求めてしまうことが多いように感じます。しかし、人と人とのつながりの中で大切なことは、それらを考えずに「真心を込める」ことなのではないでしょうか。心のこもった言葉で語りかけること、笑顔で人と接すること、愛していると抱きしめること...まずは、自分で出来ることを行動に移しながら日々の生活の中で「心」を届けていきたいと思っています。

乳幼児期の大切な時期において、豊かな体験や経験を通し、思いやりの心、感謝する心、命を大切に作る心を育めるよう努めていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同



## 5月聖句

あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。

イザヤ書43章1節

## 5月主題

「みつける」0歳

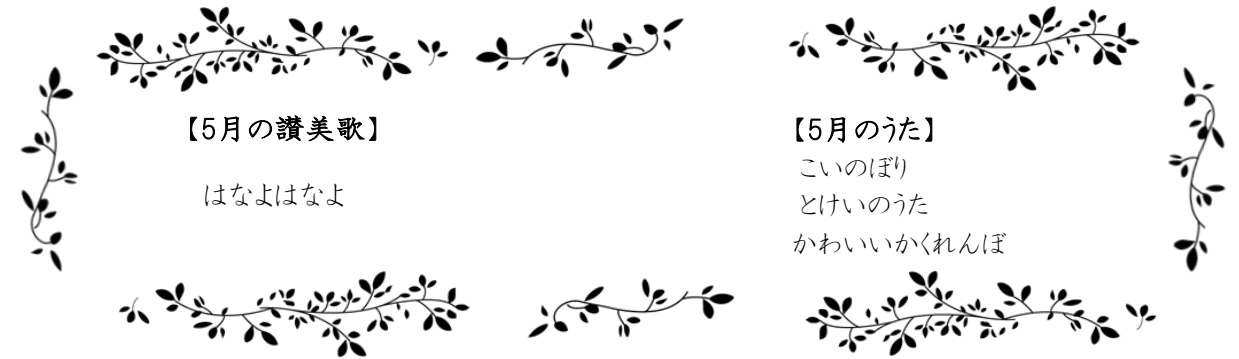
- ・神さまのお守りの中、園の生活に慣れる。
- ・まわりのように気づいていく。
- ・気持ちを受け入れられ、安心感を覚える。

1・2歳

- ・さんびかに親しみ、心地よさを感じる。
- ・屋外の光や風の中、春の花や虫などを見つける。
- ・自分の思いを表わす。

## ～子どもたちの姿～

暖かな日差しにさわやかな風が吹き、過ごしやすい季節になりました。外遊びでは、花壇のつぼみを見る度に「何色かなあ?」「まだかな」と心待ちにしていました。その花が咲くと嬉しそうに駆け寄り「見て～」「白いね」「チューリップだ」と発見を喜び一人の子どもがチューリップの歌を歌いだすと、みんなで大合唱になりました。小さい子どもたちも、その様子に手を叩いたり身体を動かしたり一緒に声を出していました。子どもたちは、草花に触れたり鳥の鳴き声を聞いたりすることで「これはなあに」「何の音?」と自然の不思議さを感じているようです。自然と触れ合うことで五感を働かせ様々な感性が育まれるよう、子どもの気付きや感動を大切にしていきたいと思っています。



	月	火	水	木	金	土	日	
5月の予定表					1 身体測定	2	3 憲法記念日	
	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20 避難訓練	21	22 誕生日会	23	24	
	25	26	27	28	29 クレイシュ通信	30		
	◎5月19日(火曜日)は検体の提出日になりますので、ご協力宜しくお願い致します。 検体予備日は6月9日(火曜日)となります。							
	◎薄手の上着の持参を宜しくお願い致します。(フード付きではないものをお願いいたします。)							